

住み慣れた千葉県で安心して人生を全うするために！

口を通して我々ができること、在宅医療への誘い

米山歯科クリニック 米山武義 （日本歯科大学68回卒 静岡県出身）

人間は生まれたときから加齢という避けられない生物学的な現象変化のなかで生きています。そしてさまざまな疾病や老化と闘いながら、人生の完成としての死を迎えます。「死」を迎えることは何人も避けることができない宿命であり、自然現象です。しかし、できることならば、苦しまず最後まで人間らしい姿と機能、こころをもって住み慣れた地域で天寿を全うしたいと願うものです。こうした願いを別の言葉で表すと、「納得できる人生を送りたい」となるでしょう。

私は1999年にLancet誌に「口腔ケアと誤嚥性肺炎予防」についての研究を発表しました。そして研究の成果が世に広がるにつれてさまざまところから声が掛かるようになり、改めてこの世の実相に向き合わねばならなくなりました。病院や老人施設での口腔状態について調査していくうち、世の中には口腔衛生の劣悪さによる肺炎により生死の境をさまよっている方が数多くいることに気づかされました。口腔ケアと誤嚥性肺炎予防の関係は単に研究として終わるものではなく、その研究の成果を、社会にもっと還元し伝達していかなければならないという気持ちになりました。このために大切なことは、地域に口腔ケアネットワークを立ち上げ、多職種で口腔に関する様々な問題を掘り下げ、地域に還元していくことです。講演では恐縮ですが私が歩んできた道をご紹介します、在宅医療への誘いをお話ししたいと思います。そして千葉県が口腔ケア、口腔健康管理のメッカになることを心から祈っております。

講演内容

1. 超高齢社会の中で歯科医師のミッションを問う
2. 日本歯科大学から留学そして開業医として
3. 口腔ケア、誤嚥性肺炎予防というテーマとの出会い
4. 安全、安心、信頼の在宅医療を目指して
5. 巨大会 日本呼吸器学会が動き出した
6. まとめとして